



NEVER STOP EXPLORING



VECTIV

VECTIV Special Site
www.goldwin.co.jp/tmf/special/vektiv/



THE NORTH FACE ATHLETE: Koji Morimoto / Photo: Sho Fujimaki

GOLDWIN INC. www.goldwin.co.jp/tmf/ ☎0120-307-560

UTMF

ReBorn



ULTRA-TRAIL Mt. FUJI 2022

2022.4.22 **FRI** ▶ 4.24 **SUN** EXPO 2022.4.21 **THU** ▶ 4.24 **SUN**

UTMF 165k
165.3km/7,573m D+

START 静岡県富士市 富士山こどもの国
FINISH 山梨県富士河口湖町・富士吉田市
富士急ハイランドコニファーフォレスト

KAI 69k
69.4km/3,675m D+

START FINISH 山梨県富士河口湖町・富士吉田市
富士急ハイランドコニファーフォレスト



GOLDWIN



www.ultratrailmtfuji.com

Copyright© NPO FUJI TRAIL RUNNERS CLUB All Rights Reserved.

CONTENTS

03 CONCEPT
コンセプト

ABOUT UTMF 07

08 RACE INFORMATION
大会要項

11 SCHEDULE
大会日程

13 RULES & REGULATIONS
競技規則・注意事項

RACERS 19

UTMF165k

21 COURSE MAP
コースマップ

22 COURSE PROFILE
コース全体高低差概要

KAI69k

25 COURSE MAP
コースマップ

26 COURSE PROFILE
コース全体高低差概要

SUPPORTERS 27

28 RULES FOR SUPPORTERS
サポーター注意事項

29 PARKING
駐車場

33 EXPO
エキスポ会場

35 SPONSORS & SUPPLIERS
協賛各社・サプライヤー

36 OFFICIAL SUPPORT
協力

36 ULTRA-TRAIL Mt. FUJI RACE COMMITTEE
ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会

CONCEPT

コンセプト

総距離100マイルにもおよぶ富士山の山麓、登山道、歩道、林道などを走りつなぎます。他に例のないアウトドアイベントを通して、自らに挑戦することの大切さと、トレイルランニングの魅力を紹介します。また、どこから見ても美しい富士山の文化と自然環境の素晴らしさを国内外に伝えていくものです。

大会の理念

自分自身を探求する

この大会は他の選手に勝つことやスピードを競うことが目的ではありません。富士山を巡る100mileの長いトレイルの走破は人力による旅への挑戦です。自らの肉体と精神の可能性を押し広げ、その限界を見極めることを目指します。

自然環境を尊ぶ精神を養う

日本には古くから自然と共に生きる文化がありました。しかし、現代人はそれを見失いがちではないでしょうか。この大会では、トレイルランニングというアウトドアスポーツを通じ、参加者が自然との共存を実感し、自然を愛し敬う精神を養うことを目指します。

すべての人々とトレイルを共有する

トレイルは、山で暮らし、働き、楽しむたくさんの人々の営みから作られたものです。その先人たちに敬意を払い、われわれ以外のトレイルを利用する人々ともその価値を共有し、お互いを尊重し、感動を分かち合うことを目指します。

210 MILES
OR 315,000 STEPS.
AVERAGE DISTANCE
WE TEST SHOES.

210マイル、315,000ステップ

この距離でGORE-TEXフットウェアのテストが行われます。

耐久性に優れたパフォーマンスはユーザーにとっても環境にとっても理想的です。



MADE TO GO FURTHER



APP | @neutralworks

INSTAGRAM | @neutralworks

URL | www.goldwin.co.jp/neutralworks/

N[®]

GET YOU READY

ENABLING YOUR BODY AND MIND
TO TAKE ACTIONS ANYWHERE, ANYTIME.



C3fit
Paper Fiber Socks
Japan Stories

(Paper Fiber Socks)

 Goldwin

ABOUT UTMF

- 08 RACE INFORMATION
- 11 SCHEDULE
- 13 RULES & REGULATIONS

RACE INFORMATION

大会要項

主 催	ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会 <構成団体> ・NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 ・UTMF共同事業体（医師・福田六花、一般財団法人アールビーズスポーツ財団、リージョンポート合同会社、株式会社ソトエ）
共 催	富士市、富士宮市、身延町、鳴沢村、富士河口湖町、富士吉田市、忍野村、山中湖村、御殿場市、裾野市
後 援	スポーツ庁、観光庁、山梨県、道志村、山梨日日新聞・山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、静岡新聞社・静岡放送、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、K-mix
2022年4月22日(金)～ 4月24日(日)3日間	
開 催 日	UTMF165k 距離： 約165.3km 累積標高： +7,573m / -7,613m スタート時刻：《第1ウェーブ》 4月22日(金)14時30分 500名(※45時間制限) 《第2ウェーブ》 4月22日(金)14時45分 500名(※44時間45分制限) 《第3ウェーブ》 4月22日(金)15時00分 500名(※44時間30分制限) 《第4ウェーブ》 4月22日(金)15時15分 500名(※44時間15分制限) 最終制限時刻：4月24日(日)11時30分 募集： 2,400人 (優先エントリー・一般エントリー・寄付エントリー含む) スタート： 静岡県富士市 富士山こどもの国 フィニッシュ： 山梨県富士河口湖町・富士吉田市 富士急ハイランド
	KAI69k 距離： 約69.4km 累積標高： +3,675m / -3,668m スタート時刻： 4月23日(土)11時00分(※20時間制限) 最終制限時刻：4月24日(日)7時00分 募集： 480人 (優先エントリー・一般エントリー・寄付エントリー含む) スタート： 山梨県富士河口湖町・富士吉田市 富士急ハイランド フィニッシュ： 山梨県富士河口湖町・富士吉田市 富士急ハイランド
参 加 資 格	※招待選手等を除き、エントリーは日本国内在住者を対象とします。(国籍は問いません) ●エントリー時及び大会2週間前に日本に在住している人(招待選手※は除く) ●大会14日前までに新型コロナウイルスのワクチン接種(2回)を完了または大会開催日直前(スタート72時間以内)のPCR検査陰性を証明できること。 ●大会当日に18歳以上の男女で、コースを迷うことなく制限時間内に完走できること。 ●一般エントリー開始日の2年前(2020年1月6日)から前日(2022年1月6日)までの間に、国際トレイルランニング協会(ITRA)がポイントを認定しているレースに出場・完走し、下記の規定ポイントを獲得すること。 ただし最低1レースはエントリー開始日の1年前(2021年1月6日)から前日(2022年1月6日)までに開催されるレースとする。 ・UTMF165k:最大3レースで10ポイント以上※ ・KAI69k:最大2レースで3ポイント以上※ ※「Virtual UTMF 2021」完走者は特例として参加資格要件を満たすことといたします。(開催日:2021年4月19日～25日/6ポイント) ●2020,2021年のエントリー者(寄付エントリー・一般エントリー等を問わず出走権を持っている方)
参 加 条 件	1. レースの距離と、山岳地を一昼夜以上走り続けるという特殊性を十分認識し、必要な訓練を行なっていること。 2. この種のレースで起こりうる問題に対して、自ら対処できる能力を有していること。 3. 山岳地で予測されるトラブルや天候の悪化など(低温、強風、雨や雪)に、他に頼ることなく自ら対処できること。 4. 極限的な疲労、内臓・消化器官の不具合、筋肉などの痛み、軽度のけがが引き起こす肉体的、精神的問題に対して自ら対処できること。 5. 1から4の問題については自らが克服することであり、大会組織が責任を負うものではないと十分認識していること。 6. 自然の中での活動において、安全にかかわる問題に直面した場合、自らがそれぞれの能力に依って対応しなければならないことを十分認識していること。 7. 大会出場中の選手の映像、写真、記事、記録などのテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどへの掲載権は主催者に属するものとします。 8. 「UTMF2022新型コロナウイルス感染防止のための運営方針」を承諾・遵守すること。 ※2022年のレースにおいて、上記の参加条件に反する行為があった場合は、2023年以降のレースへの参加をお断りすることがあります。

光電子®

KODENSHI

人は万能じゃない。だから、繊維が生まれた。

光電子®はコンディショニングで選手を応援します。

株式会社ファースト <https://firbest.co.jp>



TRUECOTTON
TRACEABLE ORGANIC COTTON

TOYOSHIMA
豊島株式会社

トレーサブルオーガニックコットン
TRUECOTTON は、
未来へつながる地球のために、
遺伝子組み換え種子を選ばない、
安心安全なコットンです。



*各国の有機農業の基準では遺伝子組み換え種子は基本的に使用が認められておりません。

*TRUECOTTONの生産国であるトルコではEUの法規制に準拠する国の中でも特に厳しく遺伝子組み換え作物の栽培が規制されています。

Official Instagram <https://truecotton.jp/>



アップサイクルに関わるみんなが
“High-Five(ハイタッチ)”できる
“Good”な未来を目指して

POINT
01 本来廃棄されていたものが
新たな価値を生み出していく



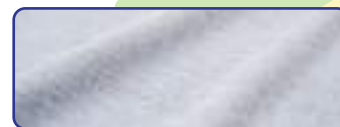
裁断くず

反毛

紡績



糸



生地



POINT
02 新たな商品へ蘇らせる
アップサイクルコミュニティ

AsahiKASEI

旭化成アドバンス株式会社
スポーツ・ユニフォーム事業部
TEL : 06-7636-3580 <大阪>



YKK は 2012 年大会よりウルトラトレイル・マウントフジに協賛しています。
YKK has been an official sponsor of ULTRA-TRAIL Mt. FUJI since 2012.

YKK CORPORATION JAPAN COMPANY

YKK
Little Parts. Big Difference.

SCHEDULE

大会日程

UTMF165k

ナンバーカード引換(サポーター含む)・必携品チェック

※前日受付のみ。完全予約制。サポーター登録含む。

■4月21日(木)

12時～20時 ※JR新富士駅のみ【12時～終電の方まで対応】	1. 富士急ハイランド コニファーフォレスト(山梨県富士吉田市) 2. 御殿場高原時之栖(静岡県御殿場市) 3. JR新富士駅(静岡県富士市)
------------------------------------	---

大会スケジュール

※各自スタート時間の1時間前までに荷物、ドロップバッグを預けてください。

■4月22日(金)

12時～14時30分	荷物、ドロップバッグ預け	富士山こどもの国(静岡県富士市)
14時00分	開会式	
14時30分	第1ウェーブスタート	
14時45分	第2ウェーブスタート	
15時00分	第3ウェーブスタート	
15時15分	第4ウェーブスタート	

■4月24日(日)

9時～13時	表彰式、閉会式	富士急ハイランド コニファーフォレスト (山梨県富士吉田市)
11時30分	制限時刻	

表彰対象(UTMF165k、KAI69k 共通)

※男子総合・女子総合で表彰された方は年代別表彰からは除外します。

- ① 男子総合1～10位、女子総合1～10位
- ② ニューヒーロー 29歳以下で顕著な成績の男女選手各1名
- ③ ベテラン(40～49歳) 男子・女子1～3位
- ④ マスター(50歳～59歳) 男子・女子1～3位
- ⑤ レジェンド(60歳以上) 男子・女子1～3位

KAI69k

ナンバーカード引換・必携品チェック

※前日受付のみ。完全予約制。

■4月22日(金)

12時～20時	富士急ハイランド コニファーフォレスト(山梨県富士吉田市)
---------	-------------------------------

大会スケジュール

※各自スタート時間の1時間前までに荷物を預けてください。

■4月23日(土)

9時～10時00分	荷物預け	富士急ハイランド コニファーフォレスト (山梨県富士吉田市)
10時30分	開会式	
11時00分	スタート	

■4月24日(日)

7時00分	制限時刻	富士急ハイランド コニファーフォレスト (山梨県富士吉田市)
9時～13時	表彰式・閉会式	



RULES & REGULATIONS

競技規則・注意事項

基本ルール

- 以下の事項を理解し、責任を負うことを本大会参加の基本条件とします。
- 本大会に参加する選手は、競技中であっても日本国内の・自治体の法令、また一般社会正義に基づく活動責任を負います。
- UTMFは山岳地を含む自然の中を一昼夜以上も走り続ける競技です。主催者は選手が予測・制御できないリスクを最小限にとどめるよう準備しますが、レース中の危険を避け、自身の安全を守るのは選手の責任です。そのため、選手は予測されるトラブルや天候の悪化(低温、強風、雨や雪など)に対応できる技術・知識、装備、体力、自己管理能力を備えていることが求められます。その対応の結果には選手自身が責任を負います。また、アウトドアにおいて事故に遭遇した選手の最も近くにいるのは選手です。他の選手の安全を守ることに貢献することが、全ての選手に期待されます。
- 本大会はUTMF2022新型コロナウイルス感染防止のための運営方針を承諾・遵守する事を大会参加条件といたします。
- レースコースはマーキングテープ、指示看板などで誘導されています。さまざまな自然環境の下で誰に頼ることなくこれらをたどり、ルートを維持することは選手の責任です。また、ルートを外れた場合は地図などを使い、自力でルートに戻ることも選手の責任です。ルートを外した場合、緊急事態でない限り、本部の緊急電話に電話をすることは避けてください。その電話は、他の誰かが本当に必要な通話することを妨げる可能性があります。
- レース前、レース中に主催者から提供される公式情報を確認することも選手の責任です。本競技規則に沿ってなされる指示に従ってください。
- 選手は常に自然環境と、トレイルを共有する他者を尊重してレースを行ってください。
- 競技が適切に行われるように、主催者は可能な用具・用品の準備、コース整備を行い、必要に応じて各所にスタッフを配置します。また、救助および医療援助体制を準備します。
- 応急処置を行う救護所はすべてのエイドステーションにあり、医師または看護師が待機しています。ただし、エイドステーションで行うのは応急処置だけです。

	山中湖(標高992m)					
	降水量 (mm)		気温 (℃)		風速 (m/s)	
	平均	最低/最高	平均	最低/最高	平均	最低/最高
0:00	0.3	0.0/1.0	7.4	2.7/13.8	0.7	0.0/2.2
3:00	0.4	0.0/1.5	6.9	0.9/13.6	1.1	0.0/4.1
6:00	1.7	0.0/8.5	7.4	-0.3/13.8	1.0	0.0/4.0
9:00	5.0	0.0/25.0	12.9	8.5/18.4	1.2	0.2/2.6
12:00	0.0	0.0/0.0	16.3	12.0/19.9	3.0	1.9/3.6
15:00	0.0	0.0/0.0	15.3	11.4/21.8	2.4	1.3/4.4
18:00	0.0	0.0/0.0	12.9	8.7/17.7	1.2	0.5/1.5
21:00	0.0	0.0/0.0	9.8	2.7/16.8	0.4	0.1/1.0
参考:山中湖4月25日気象状況(2016-2020)						

※気象庁のデータを元に作成

※今大会のコースの大部分(約57km)が標高500m～1600mの間にあります。気温は100m上昇すると0.6℃下がると言われています。また、風は1m毎に体感温度が1℃下がると言われています。

競技規則

1. 参加条件と選手の責任

ここには、主催者が提供する競技の運営環境と参加選手が守るべき事項があります。競技規則に従わないときやこれらの注意を怠ったときには、その場で失格となったり、レースタイムに1時間、3時間、もしくは6時間のペナルティタイムが加算されることがあります。また、次年度からの参加を断ることがあります。

2. 自然保護について

本レースのコースは、富士箱根伊豆国立公園に指定された区域や希少動植物の生息するエリア等を有する貴重な自然環境の中で開催されています。かけがえのない森林生態系に悪影響及ぼさぬよう、以下のルールを設定しています。

主旨を十分に理解した上で、以下のルールを厳守してください。

- 全コースにおいてストックの使用を禁止します。また、ストックの代わりとなる木の枝などの使用も禁止します。
- コース内で仮眠することを禁止します。これは、自然環境に対する影響が大きく、しかも「緊急救護を必要としている」と間違われる可能性があるためです。
- コースの角をショートカットするなど、トレイルからはずれることを禁止します。自然保護上必要な箇所には、追い越し禁止その他の制限を設定します。
- コース上および全区域で動植物、菌類、岩石などを採取、損傷することを禁止します。
- ゴミは絶対に捨てないでください。
- 用便は各エイドステーションのトイレを利用してください。止むを得ないときは携帯トイレを使用し、紙を使った場合は必ず持ち帰ってください。
- 外来種子の持ち込みを防ぐとともに、居住市街地の植生を高山地帯へ持ち込まないため、事前に靴底を洗浄したシューズを持参してください、またその靴でスタートしてください。同じ理由で、コース途中、数か所の登山口に靴底洗浄用のマットを設置します。スタッフの指示に従って用意されたブラシで靴底の泥や植物種子を落としてください。
- 大会当日の大会開催に当たって、安全面で問題ない場合でも、トレイルの状況が多数の参加者の利用に耐える事ができないと判断した場合、歩行区間の設定やコースの変更、大会中止の判断をする可能性があります。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、内容を変更する可能性があります。

『UTMF2022新型コロナウイルス感染防止のための運営方針』を必ずお読みください。

3. 他者と地域への配慮について

- ケガ、病気などで身動きできない選手や大会関係者と遭遇した場合は、その救助を優先し、速やかに救護本部へ連絡してください。救護本部の電話番号はナンバーカードに明記してあります。また、本部連絡の際は可能な限りその選手のナンバーを確認し、それを伝えてください。ナンバーがわからない場合は性別や服装の色などを確認してください。これは本部による対応をスムーズにするためです。
- コース内で横になっている、あるいはしゃがみ込んでいる選手を見つけたときには、必ず声をかけて体調、症状を確認してください。救護が必要な場合はその作業を優先し、救護本部へ連絡してください。
- コースは本大会が占有をしているわけではありません。一般利用者(登山者、ハイカーなど)に配慮しその通行を妨げてはいけません。追い越し禁止区間では選手だけでなく、一般利用者を追い越すことも禁止します。また、追い越し禁止区間外でも一般利用者を追い抜く場合は、道幅の広い安全な場所で、速度を落とし、歩いて追い抜いてください。追い抜くとき、すれ違うときには挨拶を忘れないでください。同様の原則は市街地でも適用されます。歩道のある道路では必ず歩道を通行してください。
- コース上に存在するすべての建造物などに傷をつけないよう注意してください。
- コースには私有地など、通常は立ち入りが禁止されている特別な区域があります。指定されたコース以外には絶対に立ち入らないでください。
- コース周辺には居住区域があることを認識し、大きな音をたてたり騒いだりしないでください。熊鈴禁止区間では、熊鈴が鳴らないようにしてください。
- 感染予防の観点から、可能な範囲で周囲の人と距離を空けてください。林道や道路などで他の競技者との間隔が確保できる場面では、前の人の呼気の影響を避けるため、並走やあるいは斜め後方に位置取ることを奨励します。
- 感染予防の観点から、競技中に唾や痰を吐かないでください。

4. 誘導、救助及び医療援助について

医師と救護者には、これ以上競技を続けられない選手に競技を中止させる(棄権もしくは失格させる)権限があります。医師もしくは救護者に競技の中止を宣告された際は、ICチップをスタッフに返却してください。その際、ナンバーカードにリタイアだとわかる印をつけることがあります。

5. ICチップについて

ICチップと地面に敷いた計測マットにより、選手の記録測定、出走人数と完走人数の確認、および各エイドステーションやチェックポイントの通過確認を行います。

※原則、U3身延町本栖湖、U8/K3二十曲峠ではリタイアできません。

- ICチップは両足のシューズそれぞれにひとつずつを装着しなければいけません。
- レースを終了した選手はICチップをスタッフに提出してください。
- 棄権した選手、失格となった選手はICチップを各エイドステーションのリタイア受付に返却してください。

6. 関門と計測について

- 関門ぎりぎりに到着する選手の安全を図るために、関門時刻はエイドステーションの入口と出口のふたつを設けます。それぞれ指定の時刻までに通過(関門に入る・関門を出る)できない場合は失格になります。
- エイド出口を出ても、入口関門時刻前であれば、そのエイドに戻ることができます。エイドに戻るとき、そして再びエイドを出るときには、専用の通路を使って必ずスタッフにその旨を伝えてください。この場合、出口関門時刻前にエイドを出ないと失格になります。
- 天候やコースの状況、レースの進行状況によって関門時刻を変更する事があります。その際はエイドステーションの公式掲示板、登録された携帯電話番号へSMSでお知らせします。

7. コース上の誘導と案内について

- 主催者は土地所有者および管理者の許可を得て、必要最低限のマーキングテープや表示看板を設置します。マーキングテープは特に迷いやすい場所を除き、およそ100mに1本の間隔で設置します。マーキングテープが200m以上進んでも見当たらないときには、コースを間違えています。来た道に戻ってコースに復帰してください。
- 主催者は、選手が予測・制御できないリスクを最小限にとどめるようにコースを準備します。危険箇所には印をつける、ロープを張るなどしてリスクの低減を図っています。選手はそれらの指示に従ってください。主催者が必要と判断した場所にはスタッフやガードマンが立ち、選手の安全を確保するために交通整理をすることがあります。指示に従ってください。
- 安全のためにスタッフやガードマンが立ち、選手を誘導している箇所でも、マーキングテープや看板を確認して正しいコースをたどることは選手の責任です。
- 追い越し禁止区間、その他の制限を設定する案内が設置された区間ではその指示に従ってください。
- レース開始後に選手に伝えなければならない情報は、エイドステーション、ウォーターステーションの公式掲示板に掲示します。また、特に重要な情報は、登録された携帯電話番号へSMSでも配信します。エイドステーション、ウォーターステーションで公式掲示板やSMSを確認することは選手の責任です。



8. リタイア(棄権)について

- レースを続ける自信が持てず、レース途中で棄権する場合はエイドステーションまたはハイランドラインの計測スタッフにリタイアの申告をしてください。
※原則、U3身延町本栖湖、U8/K3二十曲峠ではリタイアできません。
- コース上でのリタイア コース上でリタイアできるのは緊急時、またはケガなどにより自力で移動できない場合のみです、救護本部に連絡をし、その指示に従ってください。
- コース上に留まること 自力移動が難しく、なおかつ救護本部への連絡ができない場合、コース上(確実に見える範囲)に留まってください。コース上に留まる限り、スayer等があなたを確実に発見できる確率は大きくなります。それはあなたの安全を約束する最後の手段です。

9. 装備について

装備の総量はスタートのとき、そしていずれのエイドステーションを出るときにも2kgを超えていなければなりません。さらにコース上すべての場所において1kg以下になってはいけません。

レース途中で必携品のチェックを行うことがあります。必携品が欠けていた場合はその場で失格になることがあります。

必携品ウェアの保温性、防水性などのレベルは、選手自身の責任で決定してください。選手自身が選択し届け出たウェアを主催者はその選手の必携ウェアと判断します。

全ての装備は、持つだけでなく使い方を身につけてください。

また、本年の大会は新型コロナウイルス感染防止対策の為、仮眠所及び救護所等で防寒の為に毛布は提供しません。それを踏まえた防寒対策をしてください。

以下は必携品のリストです。

- 必携品 (装備として必ず携行するもの)
- 詳細コースマップ。大会公式サイトに掲載されている詳細図を紙にプリントしてください。(※1)
 - エントリーの際に番号を届け出た携帯電話。救護本部の電話番号(ナンバーカードに明記してあります)を登録し、番号非通知にせず十分に充電し、主催者からのSMSによる緊急連絡を受けられる状態にしておいてください。
 - 携帯コップ(150cc以上)。エイドステーションに紙コップの用意はありません。
 - 水。スタートおよび各エイドステーション、ウォーターステーションを出発するときには1ℓ以上持っていなければいけません。
 - 食料。
 - ライト2個、それぞれの予備電池。低温では電池の寿命が短くなります。
 - 点滅ライト。夜間の一般公道で後方からの走行車輛に認識されやすいよう、ザックなどにつけてください。
 - サバイバルブランケット(130cm以上×200cm以上)またはエマージェンシーヴィヴィ
 - ホイッスル。
 - テーピング用テープ(80cm以上×3cm以上)。(※2)
 - 携帯トイレ。(※3)
 - 雨天に備えてフードつきレインジャケットとレインパンツ。どちらもゴアテックス)あるいはそれと同等の防水、透湿機能を持ち、縫い目をシームテープで防水加工してあるもの。
 - 保温のためのフリースなどの長袖シャツ。綿素材は認められません。(※4)
 - 保温のための足首までを覆うズボンあるいはタイツ。または膝までを覆うタイツと膝までを覆うハイソックスの組み合わせ。いずれも綿素材は認められません。(※5)
 - 保温のための手袋、耳までを隠す帽子。(※6)
 - 鼻と口を覆い飛沫拡散を防止できるマスク2枚。布製の場合は2層以上のもの。(※7)
 - ファーストエイドキット(絆創膏、消毒薬など)。
 - 保険証(コピーは不可です)。
 - 配布されるナンバーカード、ICタグ。
 - 以上の必携品と下記にて紹介する「特に勤める携帯品」を収納できるザックまたはバック。

※1 地図データを携帯電話などにダウンロードしておいても、それをマップとして認めないことにしました。電池切れ、通信・表示不良などで使えない可能性があるからです。必ず紙にプリントした詳細図を用意してください。雨天時でも使えるように透明なビニール袋などに入れてください。

※2 骨折などケガの救急処置のためだけでなく、ザックのストラップなど、装備が壊れたときの補修など、多くの用途にも使える強いテープです。

※3 使用した場合は次のエイドステーションで未使用のものと交換できます。

※4 保温のための上半身の衣料は＝「暖かい空気の層」を作ることができる起毛したミッドウエアと称されるフリースやウール、薄手のダウンなどのことです。薄手のアンダーウェアは認められません。

※5 保温のための下半身衣料は＝A.足首までを覆うズボン、B.同じ足首までを覆うタイツ、C.丈の短いタイツとハイソックスのことです。

※6 ウール、ポリエステル製ニットキャップなどのこと。

※7 スタートエリアとエイドステーション等(飲食時を除く)では必ず着用してください。それ以外の競技中は着用の義務はありません。

※必携品とは最低限の装備のことです。この厳しいレース環境で、二昼夜走り続けることを認識し、自らの安全と健全な体調を確保するために、さらに必要と思われる装備を加えてください。

※コース上で疲労、ケガなどで動けなくなった場合、主催者は連絡を受けてから3時間以内に現場に到着できるように活動しますが、要請が多数重なったときや、現場がコースを外れているとき、悪天候のときはその限りではありません。救助隊が到着するまでに6時間以上もかかることもあります。寒風や氷雨の中で6時間コース上で待機しなければならぬことも想定して、装備を選んでください。

特に勤める携帯品について

必携品のリストは、全ての選手にとってこのレースを走るために十分な装備ではありません。各選手の技量や身体能力、当日の気候によって必要な装備は違います。各自必要な装備を見極め、追加して携帯してください。また、事前にそれらを着用して氷点下気温の高山、大雨の中での長時間に及ぶランニングなどを体験し、それらのウェアがほんとうに自分のカラダを守ってくれるのか否かを知っておきましょう。以下は特に勤める携帯品のリストです。

特に勤める携帯品

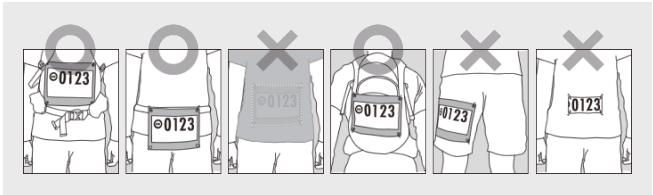
1.トレイルランニングシューズ 2. コンパス 3. 熊鈴(※1) 4. 着替え 5. 日焼け止め

6. ワセリン 7. 筆記用具 8. 現金 9. 消毒用の除菌ティッシュやアルコールスプレーなど

※1 熊鈴は昼夜を問わず、近隣住民にとって非常に不愉快な騒音です。住宅地は熊鈴禁止区間として「熊鈴禁止」の看板を設置しますので、鳴らないようにしてください。

10. ナンバーカード(ビブ)の取り付けについて

- 誤ったナンバーカードの取り付け方をすると、失格になる可能性があります。
- ナンバーカード(ビブ)は上半身前面と背後に、それぞれ1枚ずつ、安全ピンやビブベルトなどを使って、よく見えるように、衣類で隠れないように、つけてください。
- トランクス、タイツ、パンツなど下半身につけることは許されません。
- カードの周囲を折りたたみ、サイズを小さくしてつけることは許されません。



11. 特別ルール

- 本年のコース上にはフィニッシュ手前約1.7km(富士急行富士急ハイランド駅横)地点に踏切があります。現地スタッフ及び列車通行時遮断機の警告音がなりましたら必ず止まってください。尚、列車通行時間はレースタイムに加算されます。
- UTMF165k、KAI69kの男子総合1～10位、女子総合1～10位の総合順位の確定のみフィニッシュ手前約2.1km地点で行います。これ以降総合入賞者の順位の変動があっても認められません。

12. ドロップバッグについて

※UTMF165Kのみ

- レース途中の「U5富士急ハイランド」で、スタート前に預けた荷物(ドロップバッグ)を受け取ることができます。
- そこまでの区間で使い終わった用具をドロップバッグに戻すこともできます。
- ドロップバッグは使用の有無を問わず、「U5富士急ハイランド」に設置しています。レース終了後各自で回収してください。

13. その他の禁止事項

- 「UTMF2022 新型コロナウイルス感染防止のための運営方針」を遵守してください。
- イヤホンの使用を禁止します。
- 不正行為をすること(乗り物の使用、代走、その他法律、条例に抵触する行為)を禁止します。

14. 主催者の責任と義務

選手の故意ではないコース上の器物破損(対動植物、対物の事故、トレイルの崩壊など)に対して責任を負います。

15. 免責事項

大会主催者は本大会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対する一切の責任を負いません。

16. エイドステーションと私的サポートについて

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の為内容を変更する可能性があります。

- エイドステーションに入る際は必ず手指消毒を行ってください。
- 飲食時を除いてマスクを必ず着用してください。
- 可能な範囲で人との距離を空けてください。
- KAI69kの出場者は私的サポートおよび仮眠所の利用を禁止いたします。
- 仮眠所・救護所には新型コロナウイルス感染防止のため防寒の為に毛布は提供しません。また仮眠所内で休む際もマスクを着用して下さい。
- 仮眠所はU4富士河口湖町精進湖以外では屋外テント内となり利用時間は1時間以内となります。また混雑時に密集・密閉状態を避けるために一時的に利用人数を制限する場合があります。スタッフの指示に従ってください。
- UTMF165kの出場者はU2麓、U4富士河口湖町精進湖、U5富士急ハイランド、U7山中湖きららでのみ私的サポートを行う事ができます。詳細なルールは「サポーター注意事項」をご確認ください。
- 本年の私的サポートを行う方は新型コロナウイルス感染防止の為、①事前申込みをした上で②大会受付日に主催者が実施する抗原検査を受け陰性であることが必要となります。
- エイドステーションは食料や飲料が用意されています(場所によっては飲料だけのエイドもあります)。
- 新型コロナウイルス感染防止のためエイドスタッフは選手自身および選手の装備品・ゴミに触れる事ができません。主催者が用意するエイドステーションの飲食物は、選手自身がそこに行き、エイドスタッフの助力を得ずに選手自身がピックアップしてください。感染予防のため、飲食物の取り扱いには必ずエイドスタッフの指示に従ってください。
- エイド内で出たゴミは、指定されたゴミ箱以外に廃棄することを禁止します。
- 鼻水、唾液などが付いたゴミについてはビニール袋等に入れて密閉して縛り、持ち帰るか指定されたゴミ箱に廃棄してください。
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えばコース上)に捨てることを禁止します。
- 火器の使用が制限または禁止されるエイドステーションがあります。
- 市街地や別荘地などの居住地域では、地元住民の方々に迷惑ですので応援はご遠慮ください。
- コース上にある自動販売機、店舗の利用は可能です。ただし、故意にコースから外れることは禁止します。

17. ヘルス・ポリシー

本大会は世界アンチ・ドーピング機構(WADA)が発行している世界アンチ・ドーピング規程の全てのルールを受け入れ、そのルールに沿って開催されます。各参加者は次の内容に同意するものとします。

- 世界アンチ・ドーピング機構(WADA)が発行している世界アンチ・ドーピング規程の全てのルール(特にアスリートに関する箇所)を受け入れること。
世界アンチ・ドーピング規程・国際基準(公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構)
<https://www.playtruejapan.org/code/>

注意事項、その他レースに関する情報

1. 大会の映像、写真、記事、記録などについて

- 主催者は選手やサポーターの映像、写真、記事、記録などをテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどで公にすることがあります。
- 大会の映像、写真、記事、記録などは著作権法などで保護されています、主催者の許可なく使用（放送、出版、インターネット配信なども）することはできません。ただし、選手やサポーター自身が撮影した映像、写真を私的に使用する場合はかまいません。
- 大会は国際トレイルランニングレース協会 (ITRA) 及び、UTMB2022のクオリファイレースの申請を予定しております。大会公式リザルトはITRA、UTMBにそれぞれ提出・共有されます。

2. 環境保全について

大会に参加するときは、公共交通機関の利用や1台の車に乗り合わせるなどして、エネルギー消費と二酸化炭素排出の抑制にご協力ください。

3. 他者と地域への配慮について

レースを支えてくれる関係者や地元の人々、そしてボランティアに対する感謝の気持ちを忘れないでください。

4. 救助及び医療援助について

- コース上で救助が必要な場合を想定して、救助スタッフは3時間以内に現場に到着できるように待機しています。ただし、救助要請が重なったとき、コースから離れた場所からの救助要請、また救助場所が特定できない場合は、スタッフの到着までに6時間以上かかることもあります。
- 救護本部への電話の中には、緊急でも救助でもなく「関門時刻に間に合わないから車に収容してほしい」＝もちろん失格になります、などが多数ありました。いずれもお断りしましたが、このような連絡が増えるほど、救助スタッフは時間をとられ、電話はつながらなくなり、本当に救助を必要としている人の救助を遅らせてしまいます。救護本部に電話をかけるときには、本当に自分に救助が必要かどうか、もう一度考えてから行ってください。
- 救護本部に電話をするときは、地図を手元に出して、現場がどこなのか正しく説明できるようにしてください。
- 詳細図に記載されている地点番号 (B05などの番号) は、現地の看板にも記載されています。救助要請の際にはこの番号を使って現場を説明してください、スタッフもスムーズに対応できます。
- 主催者が必要だと判断すれば、大会関係者以外の救助隊を呼ぶことがあります。この場合、かかった費用は救助された方の負担となります。
- 医師またはスタッフが必要と判断すれば病院へ搬送することもあります。その際の医療費は自己負担になります。また、病院からフィニッシュ会場または自宅までの移動は選手自身の判断と責任で行ってください。その費用も選手の負担となります。
- コース上で車に収容されたなかで、病院搬送の必要がない選手は主催者の判断で近くのエイドステーション/ウォーターステーションに運ばれます。棄権もしくは失格とみなされるので、その計測スタッフにICチップを返却してください。
- 主催者は賠償責任および選手の傷害保険、大会中止保険に加入していますが、選手のみなさんは保険に入っておくことをおすすめします。主催者が加入している障害保険の補償範囲は以下の通りです。

死亡、後遺障害:500万円

入院(日額):3,000円

通院(日額):2,000円

5. コース上の誘導と案内について

- コース誘導テープや看板は大会直前に設置され、終了後すぐに撤去されます。
- コースアウトしたときに速やかに復帰できるよう、必携品のコース詳細図を活用してください。
- 事前に詳細図をよく読み、コースを十分に把握しておいてください。

6. 大会中止・中断・コース変更の基準

下記の理由により主催者が大会の開催、継続が困難であると判断した場合は、大会を中止または中断します。大会開催日を翌週などに延期することはありません。

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により国や県からの中止要請があった場合。
- 気象警報発令時
- コース途中の崖崩れ、落石など、選手とスタッフの安全を確保できないと判断されるとき。
- 災害時。東海地震予知情報/警戒宣言、東海地震注意情報/発令時など。
- 荒天下などで選手通過によって自然環境を損なう可能性があるとき。
- その他、主催者が中止すべきだと判断したとき。
- 大会中止・中断の判断は大会開催日または前日までに大会公式サイトおよび専用サイト(PC、携帯)で発表します。スタート当日に発表する場合は、選手それぞれの登録された携帯電話番号にSMSでも配信します。

7. 大会開催による自然への影響調査について

大会開催前と後にコースの整備、清掃イベントを行う予定です。選手の参加は義務ではありませんが、大会の意義を考え、多くの方に参加していただくことを望みます。環境活動の内容は以下のアドレスから見るができます。NPO法人富士トレイルランナース倶楽部 環境活動報告ページ<https://fujii-trailrunnersclub.com/environmental/>環境省のガイドラインなどに沿って、大会による自然への影響の調査を継続的に行い、その結果を大会公式サイト内で公表します。

8. 申し込みのキャンセル・変更について

- 入金手続き完了後は、いかなる理由であっても種目の変更、申し込みのキャンセルはできません。参加費は返金いたしません。
- 払込期限後に支払手続をされても申し込みは無効となります。この場合、所定の事務手数料を差し引いて返金いたします。
- 大会参加の権利を第三者に譲渡することはできません。

9. レース後について

- フィニッシュ会場に休憩所がありますが、多くの方が休憩できるように仮眠は控えてください。
- フィニッシュ、リタイア、失格後の宿泊に困ることがないよう、必ず全日宿泊場所を予約してください。
- レースを中止(失格、棄権)した場合、その場からフィニッシュ会場まで収容バスまたはサポートの車を使って戻ることが出来ます。タクシーなどの費用は自己負担です。
- レース終了後、ドロップバッグはフィニッシュ会場に運ばれます。エイドの関門閉鎖後に返送しますが、ドロップバッグを受け取るにはナンバーカードの提示が必要です。選手はそれまではナンバーカード捨てずに保管してください。ドロップバッグがフィニッシュ地点に到着するのを待たずに帰る選手は、フィニッシュ地点の〈インフォメーション〉で宅配便の手続きをしてください。



RACERS

UTMF165k

21 COURSE MAP

22 COURSE PROFILE

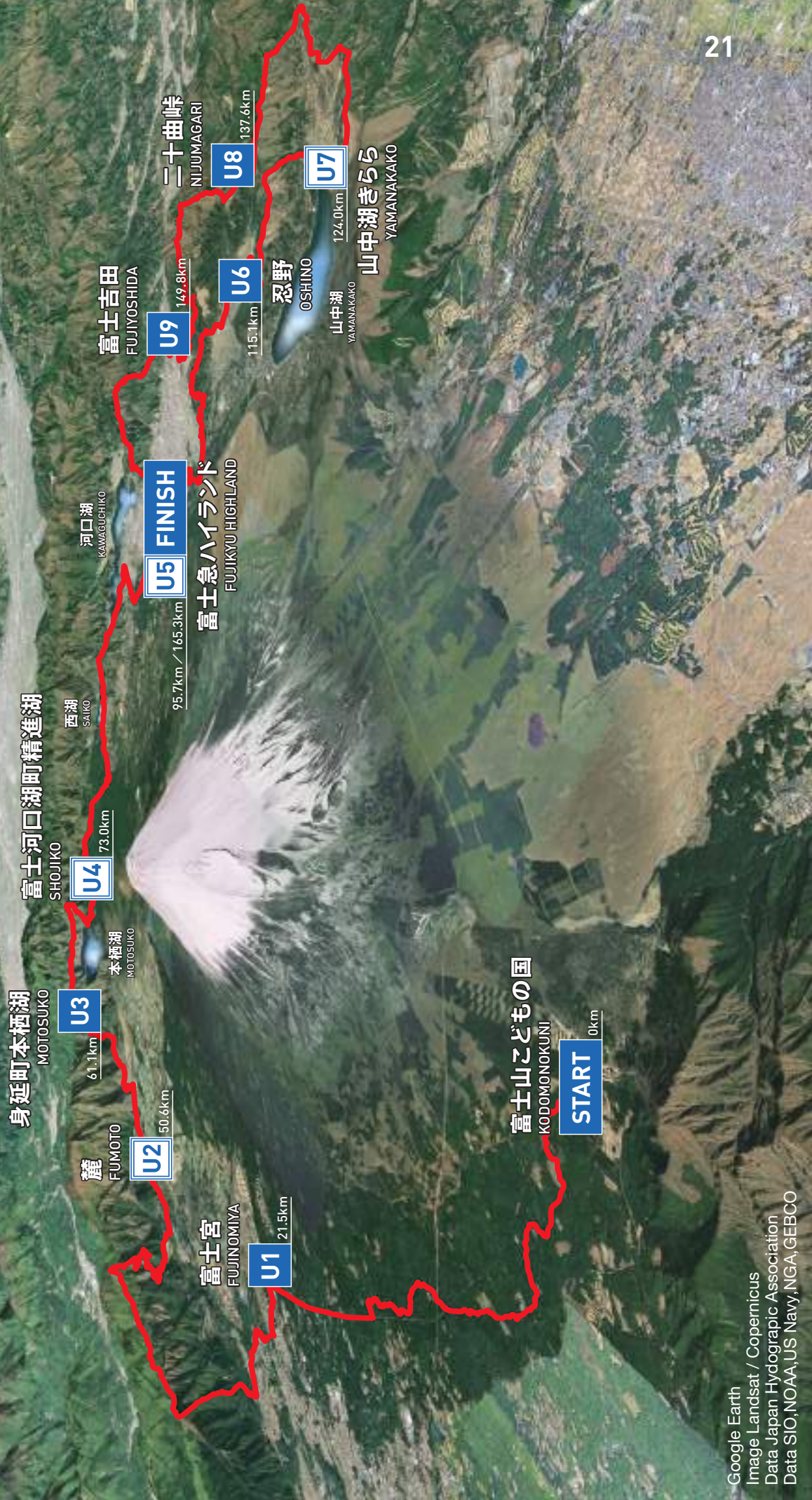
KAI69k

25 COURSE MAP

26 COURSE PROFILE

COURSE MAP

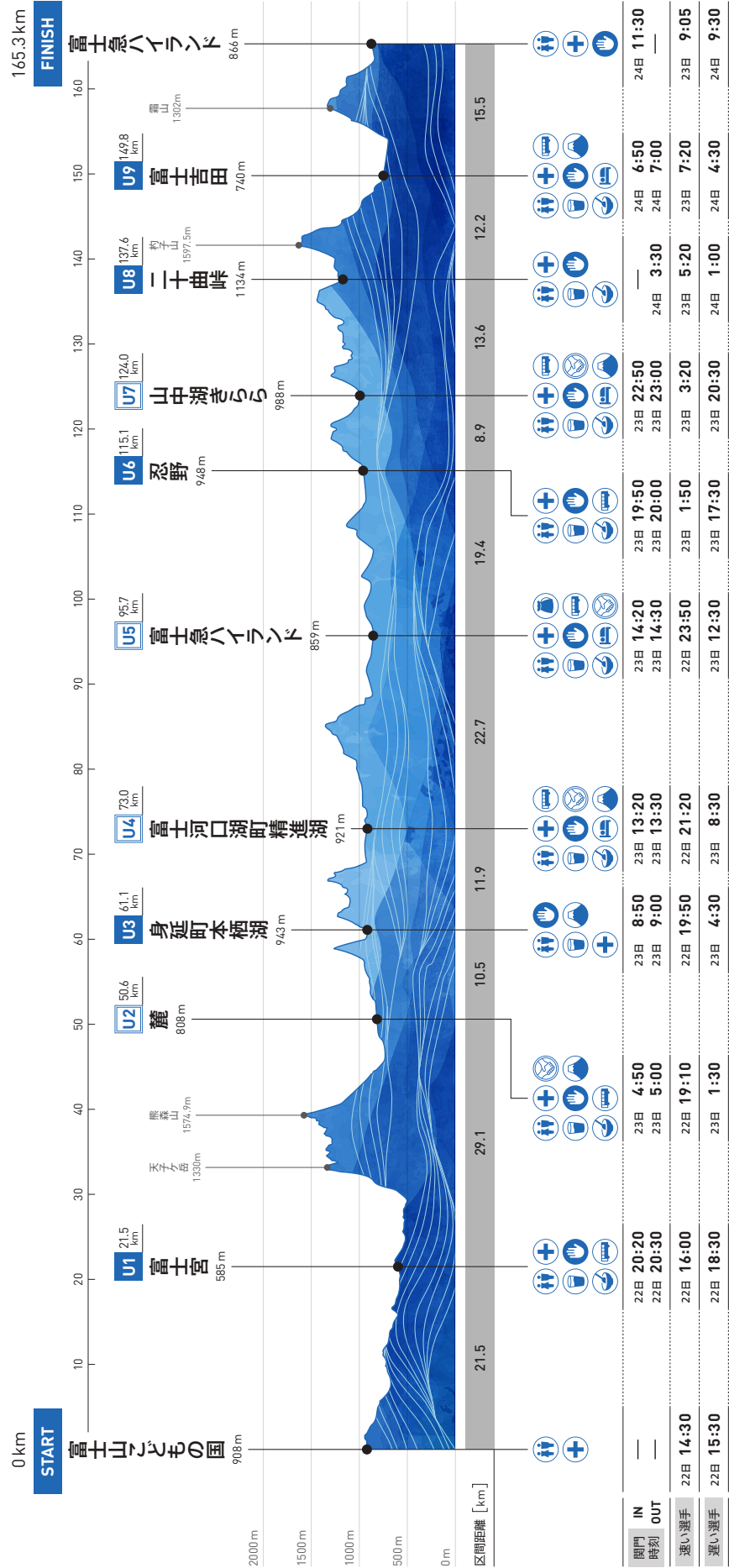
コースマップ



COURSE PROFILE

コース全体高低差概要

距離: 約165.3km 制限時間: 44時間 累積標高: +7,573m / -7,613m 日の出 05:03 / 日の入り 18:23



PERTEX®

PERTEX.COM

Pertex® is a registered trademark of MN Inter-Fashion Ltd.

紙糸が紡ぐ未来

地球環境には国境はありません。
私たちが暮らす地球を守るために、できること。
いま私たちができることから取り組むことで、
豊かな自然を次の世代に残せると信じています。

WA.CLOTH®は天然のフィラメントファイバー、
紙糸から生まれた体と環境に優しい繊維です。
紙糸には、自然本来の優れた吸放湿性と独特の肌離れ性があり、
べつつきやムレを軽減。糸の中の空隙により夏は涼しく冬は暖かく、かつ軽量です。
加えて自然の抗菌防臭性や紫外線吸収力もあり、
シーズンや条件を問わず快適な繊維です。
紙糸がもつ可能性をより多くのひとに感じてもらいたい…。
より良い未来を紡ぐために。



天然由来の繊維
WA.CLOTH®
wacloth.com



‘TORAY’
Innovation by Chemistry

カラダが動くようにできている。



Primeflex®



一部植物由来で再生可能な原料を使用したデュポン™ソロナ®ポリマーを使用。デュポン™ソロナ®ポリマーは、米国デュポン社の登録商標です。ライセンスにより、東レ株式会社が使用しております。

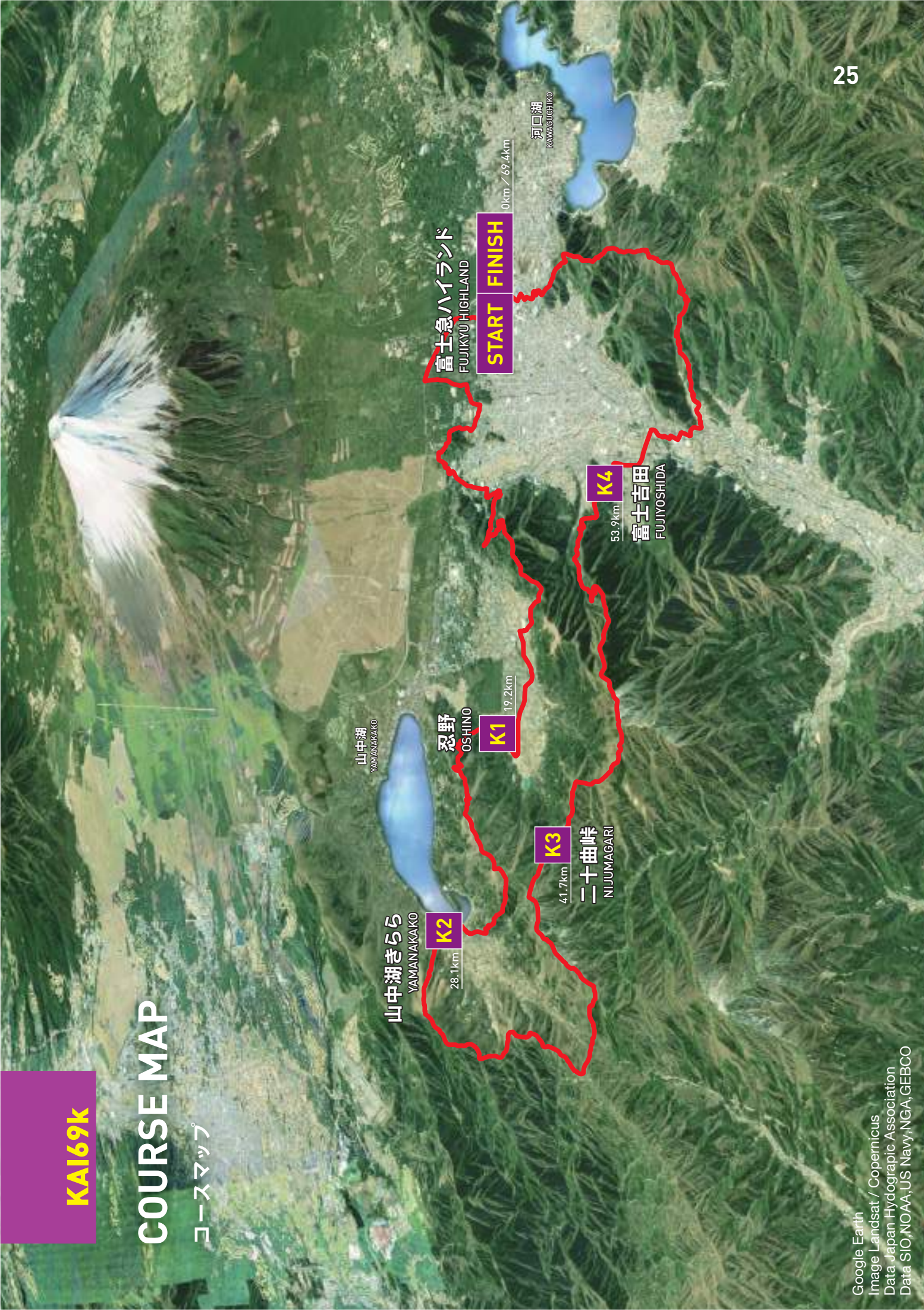
動きキレルストレッチ素材

プライムフレックス®は、性質の異なる2つのポリマーを貼り合わせたバイコンポーネント構造糸により、しなやかなストレッチ性とストレッチバック性を実現する素材です。身体の動きに追従する高い伸縮性は、アスリートの競技用ウェアからファッションに至るまで、あらゆるシーンで快適な着心地を提供します。

東レ株式会社 スポーツ・衣料資材部 TEL.06-7688-3310 www.sportstextiles.toray

COURSE MAP

コースマップ

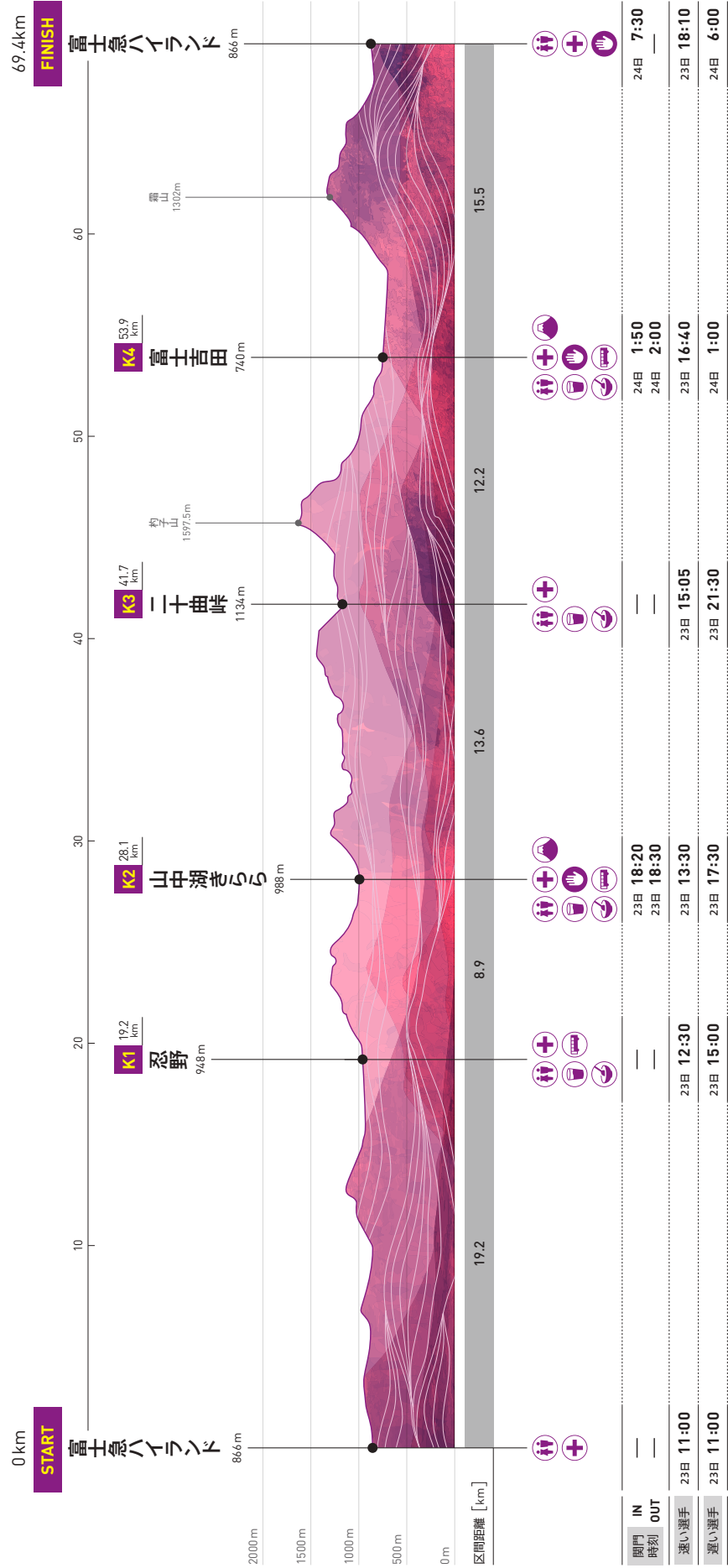


Google Earth
Image Landsat / Copernicus
Data Japan Hydrographic Association
Data SIO, NOAA, US Navy, NGA, GEBCO

COURSE PROFILE

コース全体高低差概要

距離：約69.4km 制限時間：20時間 累積標高：+3,675m / -3,668m 日の出 05:03 / 日の入り 18:23



関門時刻は予定の目安時刻ではありません。
速い選手・遅い選手の時間目安には休憩時間は含まれていません。

SUPPORTERS

28 RULES FOR SUPPORTERS

29 PARKING

RULES FOR SUPPORTERS

サポーター注意事項

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、
2022年大会の私的サポートは事前
申込が必要となります。
(大会時に抗原検査・受付あり)

サポーター、応援者、取材スタッフへの注意とお願い

本年は「UTMF2022新型コロナウイルス感染防止のための運営方針」に則り大会を開催いたします。参加される皆様は必ずそれを承諾・遵守した上でご来場頂きますようよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為内容を変更する可能性があります。

大会主催は本大会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対する一切の責任を負いません。

本大会は自然環境の保全を積極的に心がけています。以下の事項に従わないとき、事項に基づく主催者の指示に従わないとき、またこれらの注意を怠ったときには、その場で退場を命じられたり、応援する選手が失格となったり、レースタイムに1時間、3時間、もしくは6時間のペナルティタイムが加算されることがあります。また、次年度からの参加を断ることがあります。

自然環境保護について

- コース上では、選手と同じように、コースの角をショートカットするなど、トレイルからはずれることを禁止します。
- コース上および全区域で動植物、菌類、岩石などを採取、損傷することを禁止します。
- ゴミは絶対に捨てず、持ち帰ってください。
- 用便は各エイドステーションのトイレを利用してください。止むを得ないときは携帯トイレを使用し、必ず持ち帰ってください。
- 大会参加にあたっては、公共交通機関の利用や一台の車に乗り合わせるなどして、エネルギー消費と二酸化炭素排出の抑制にご協力ください。

エイドステーションと私的サポートについて

- 本年の私的サポートは新型コロナウイルス感染防止対策の為、サポーターによる事前申し込み(3月31日まで)及び主催者が用意する抗原検査での陰性・事前受付が必要となります。(4月21日(木)富士急ハイランドコニファーフォレストもしくは22日(金)富士山こどもの国)
- 私的サポーターの申し込みは1名のサポーターが複数の選手へのサポートも認めます。
- 選手の家族や友人による私的サポートは各エイドステーションの指定区域内でのみ行えます(KAI69Kは私的サポートできません)。私的サポートができるエイドステーションはU2麓、U4富士河口湖町精進湖、U5富士急ハイランド、U7山中湖きららです。
- 私的サポーターが立ち入り、選手をサポートできるのは、定められた私的サポートエリア内だけです。主催が用意するエイドセクションには選手しか入れません。
- サポート行為中はできる限り間隔を空けた上でマスクを着用してサポートを行ってください。
- 私的サポートエリアに入場し1人の選手に対してサポートできる私的サポーターは登録数に関わらず1名のみです。複数でのサポート行為を認めた場合はサポートされた選手へのペナルティ(失格・ペナルティタイム加算)を課す可能性があります。
- 主催者が用意するエイドの飲食物は、選手自身がエイドセクションに行き、選手自身が受け取ってください。サポーターは30ℓ以上の用具用品を持ち込んではいけません。
- 主催者は私的サポートエリアに私的サポーター用のトイレ、照明を用意します。なお、屋根のないサポートエリアもあります。雨天に備えて各自雨具等を用意してください。
- 私的サポートエリアは多くのサポーターが共同利用します。選手が到着する長時間前から場所取りをせず、他のサポーターと場所を譲り合ってください。
- 大会本部が当日配信する記録速報サイトなどで選手の到着予想時刻を確認し、およそ30分前になったら私的サポートエリアに入って準備しましょう。
- 選手がエイドステーションから出たら、すみやかに他のサポーターへ場所をあけてください。
- 私的サポーターは本部が用意する食料や飲料のサービスを受けることはできません。
- 私的サポーターは選手と並走することはできません。
- 私的サポートとして、医療行為は禁止します。
- サポート活動の中で出たゴミは、エイド内に置いていかず必ず持ち帰ってください。
- スタート富士山こどもの国、U7山中湖きららのエイドステーションでは火気厳禁です。
- U2麓、U4富士河口湖町精進湖では直火は使用できません。登山用ガスバーナーのみ使用可能です。
- U4富士河口湖町精進湖、U7山中湖きらら、フィニッシュ富士急ハイランドコニファーフォレストは国立公園内のためテント、タープ、のぼりの設営は禁止です。
- 市街地や別荘地などの居住地域では、音や声を出しての応援はご遠慮ください。地元住民の方々に迷惑となります。
- 私的サポートができないエイドステーション(U1富士宮、U3身延町本栖湖、U6忍野、U8二十曲峠、U9富士吉田)は車での乗り入れ禁止、応援禁止です。

駐車について

- 違法駐車は近隣住民に大きな迷惑となるので絶対にやめてください。
- フィニッシュ会場である富士急ハイランドコニファーフォレストに車で来る場合は、必ず富士山パーキングに駐車してください。富士急ハイランド周辺での違法駐車を断じて禁じます。富士山パーキングと富士急ハイランドの間は大会の無料送迎バスはありません。
- 富士山こどもの国は大会専用駐車券が必要です。選手1名につき、選手用駐車券1枚、サポーター1枚を事前に発行します。選手から受け取ってください。
- 私的サポート可能なエイドステーションにはサポーター専用駐車場を設けています。30ページに場所を記載しています。
- 私的サポートができないエイドステーション(U1富士宮、U3身延町本栖湖、U6忍野、U8二十曲峠、U9富士吉田)は車での乗り入れ禁止、応援禁止です。

大会を作り運営するのは大会本部だけでなく、ボランティア、選手、サポーター、応援のみなさんです。マナー、ルールを守り、UTMFを世界に誇れる大会に育ててください。また地元住民・施設の方々のご迷惑にならないよう、ご配慮もお願いいたします。

PARKING

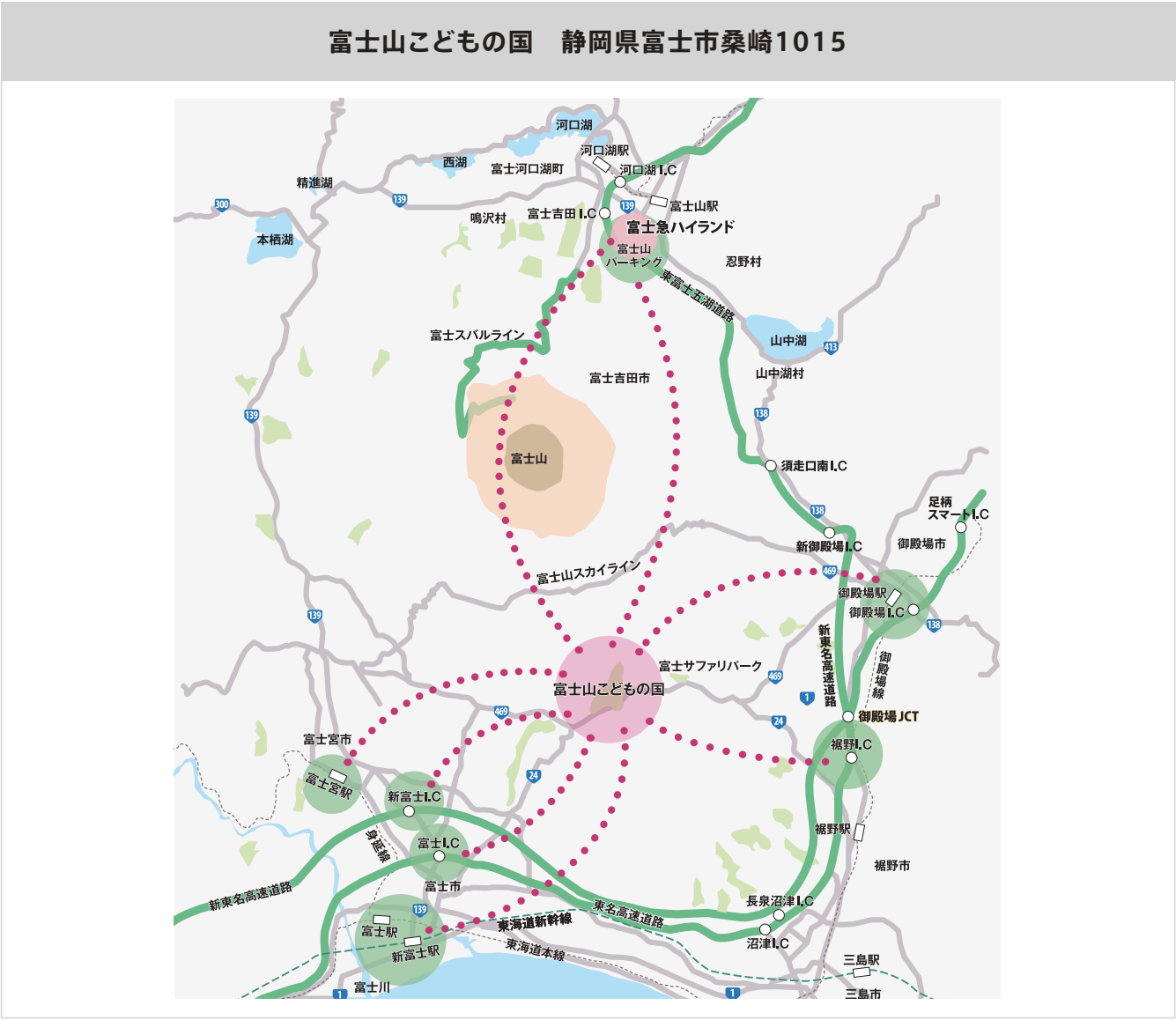
駐車場

エイドステーションの駐車場

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、2022年大会の私的サポートは事前申込者のみとなります。
- 私的サポートができないエイドステーション(U1富士宮、U3身延町本栖湖、U6忍野、U8二十曲峠、U9富士吉田)は車での乗り入れ禁止、応援禁止です。
- ここに記載されていないU1富士宮、U3身延町本栖湖、U6忍野、U8二十曲峠、U9富士吉田には駐車場がないため、私的サポートや車による乗り入れを禁止します。違法駐車は近隣住民に大きな迷惑となるので絶対にやめてください。
- フィニッシュ会場である富士急ハイランドコニファーフォレストに車で来る場合は、必ず富士山パーキング(旧称 富士北麓駐車場)に駐車してください。富士急ハイランドコニファーフォレスト周辺での違法駐車を断じて禁じます。大会の無料送迎バスは2022年は運行しません。30ページの《富士山パーキングへのアクセス》をご確認ください。
- 私的サポート可能なエイドステーションにはサポーター・応援者専用駐車場を設けています。30ページに場所を記載しています。

START

富士山こどもの国



U2

麓



U4

富士河口湖町精進湖



U7

山中湖きらら(UTMF特設駐車場から徒歩3分)

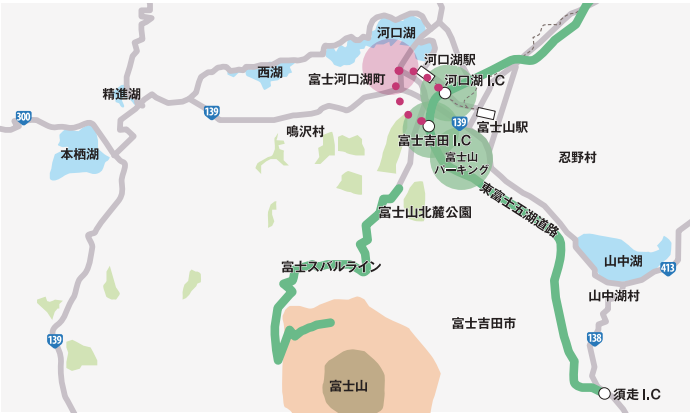


FINISH

富士急ハイランドコニファーフォレスト



富士山パーキングへのアクセス



※富士北麓駐車場は2019年4月1日より「富士山パーキング」に名称が変わりました。

選手・サポーター用レンタカープラン

ウルトラトレイル・マウントフジ参加の選手、サポーターの皆様には『トヨタレンタカー 御殿場駅前店限定お得なレンタカープラン』を特別にご用意しました!大会期間中レンタカーのレンタル料金を通常料金の20%引き(※ただし、基本料金から20%引き)にてご用意いたします!お申込は直接店舗にお電話し、「ウルトラトレイル・マウントフジの選手、サポーターです」とお伝えください。

お問い合わせ先	トヨタレンタカー 御殿場駅前店
【TEL】	0120-926-372 / 0550-81-0100
【営業時間】	9:00~19:00(年中無休)
【住所】	静岡県御殿場市新橋1850-6 JR御殿場駅前バスターミナル前の通りを左側へ60m

当日レンタカー受取の際に、大会で発行する「選手駐車券」「サポーター(応援者)駐車券」を窓口にてご提示ください。ご提示がない場合は通常料金となってしまいますのでご注意ください。

TORAIN®

PROTECTION THAT ENDURES

厳しいアウトドア環境下でも常に高い防水性と耐久性を発揮し、

長年にわたり快適な着心地をお届けするTORAIN®。

素材の経年劣化により長期間防水性を維持することの出来ない従来品に対し、
遥かに耐久性に優れた防水膜と新しいシームテープ技術を導入することにより、
長期にわたる防水性を確保、何年も着続けられる耐久性を実現しています。



‘TORAY’ 東レ インターナショナル株式会社



moririn eco project

-イトからはじまる、すべてのことへ-

地球環境と資源をまもり
健康に暮らせる
持続可能な社会の実現に貢献する

Shield-Tech™



TENCEL™



PANECO®



モリリン株式会社
MAIL| info.tokyo@moririn.co.jp
HP| https://www.moririn.co.jp/



MORIRIN
The Standard



SympaTex®



Guaranteed Green - The Sympatex climate-neutral and recyclable membrane

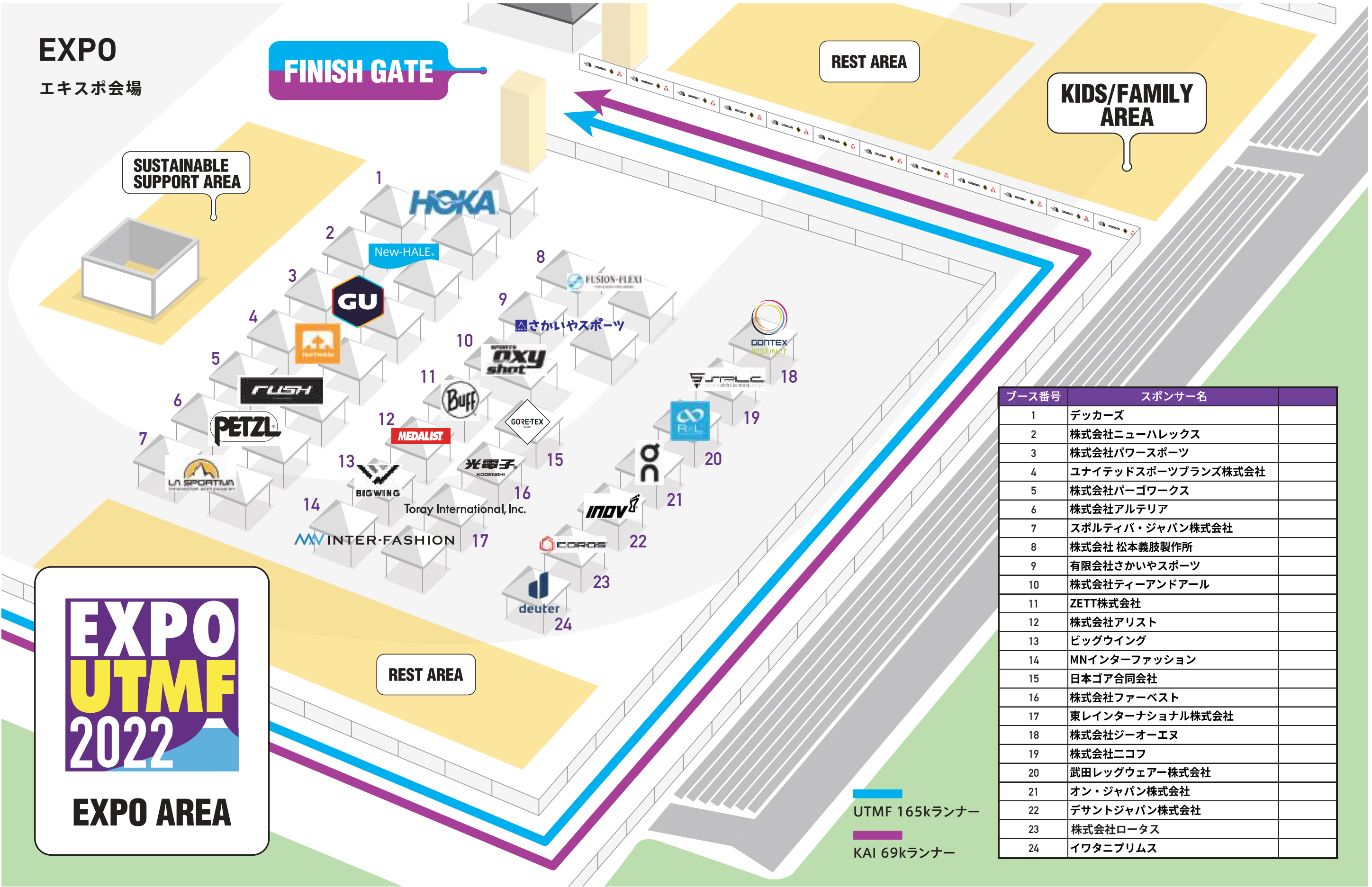
The Sympatex membrane is highly breathable, 100% wind and waterproof and regulates the climate. It is 100% recyclable, PFC free and climate neutral furthermore certified bluesign® and 'Oeko-Tex-Standard 100'. The technologies and procedures are based on the principles of ecological responsibility and sustainability with a special focus on the optimal carbon footprint.

SYMPATEX社はドイツ/ミュンヘン郊外に本社を置き透湿防水素材を世界20カ国以上で販売。
※SympaTex®はSympatex Technologies GmbHの登録商標です。

sympatex.com

**Marubeni
Fashion Link**

丸紅ファッションリンク株式会社 <http://www.mfl.co.jp/> 連絡先: 03-6859-8113
丸紅ファッションリンク(株)は日本国内の独占販売代理店です。



SPONSORS & SUPPLIERS

協賛各社・サプライヤー

特別協賛

協賛

オフィシャルサプライヤー

OFFICIAL SUPPORT

協力

- アウトドアスポーツ同志会
 - IZU TRAIL Journey
 - 一般社団法人 X-PORT JAPAN
 - NPOみのぶ観光センター
 - Ent
 - 大原学園大原富士宮ビガークラブ
 - 御胎内温泉 健康センター
 - 開運の湯 ロイヤルホテル河口湖
 - 勝山観光協会
 - 株式会社望月鉄工所
 - 浩庵キャンプ場
 - 御殿場滝ヶ原自衛隊陸上部
 - 財団法人須山振興会
 - 下部温泉会館
 - 社会福祉法人誠信会
 - スリーピークスハヶ岳トレイル実行委員会
 - 全国老人保健施設協会
 - ちゃりらん屋
 - つる湧水の里ハーフマラソン実行委員会
 - Team RICKA
- Team 鳴沢
 - Team 忍野バンダファミリー
 - Team 神奈川
 - 天然温泉 気楽坊
 - 東京電力パワーグリッド株式会社 静岡総支社
 - 道志村トレイルレース実行委員会
 - トヨタレンタリース静岡 御殿場駅前店
 - 鳴沢氷穴
 - 白檀
 - 富士河口湖町里山ハイキングクラブ
 - 富士河口湖町まちづくりワークショップ
 - 富士観光興業株式会社
 - 富士五湖マスターズクラブ
 - 富士山こどもの国
 - 富士眺望の湯ゆらり
 - フジ虎ノ門病院グループ
 - 富士八景の湯
 - 富士北嶺山楽会
 - 富士山西麓観光資源”輝き”協議会
 - 富士山溶岩の湯 泉水
- 富士宮市商工会議所
 - 富士宮商工会
 - ふじやま温泉
 - フジヤマユナイテッド
 - 富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合
 - 富士吉田杓子山パノラマトレイルラン実行委員会
 - 富士吉田市陸上競技協会
 - 富士吉田市立病院
 - ホテル鐘山苑
 - Mountain Martial Arts
 - Mt.Fuji ランニングクラブ
 - 身延町商工会
 - 本栖湖いこいの森キャンプ場
 - 山中湖温泉 紅富士の湯
 - 山中湖交流プラザきらら
 - 山中湖平野温泉 石割の湯
 - 山梨赤十字病院
 - 山梨大学山岳部
 - Run Boys! Run Girls!

ULTRA-TRAIL Mt. FUJI RACE COMMITTEE

ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会

名誉実行委員長

三浦 雄一郎
Yuichiro Miura
プロスキーヤー・冒険家

大会会長

鏑木 毅
Tsuyoshi Kaburaki
プロトレイルランナー

大会副会長

堀内 光一郎
Koichiro Horiuchi
富士急行株式会社 取締役社長

共同代表

福田 六花
Ricka Fukuda
医師・ミュージシャン
富士河口湖町在住

千葉 達雄
Tatsuo Chiba
株式会社ソトエ 代表取締役

田近 義博
Yoshihiro Tajika
リージョンポート合同会社 代表

岡嶋 智己
Tomomi Okajima
一般財団法人アールビーズスポーツ財団
株式会社アールビーズ

アドバイザー

村越 真
Shin Murakoshi
静岡大学教育学部教授
静岡市在住

実行委員会

NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部、医師・福田六花、一般財団法人アールビーズスポーツ財団、株式会社ソトエ、リージョンポート合同会社